

科学研究推進 WG

田原 俊司

1. 活動記録

本年度の主な活動内容は本学主催の科学研究費補助金に関する講演会出席，本学技術職員研修において奨励研究に関する説明講演，および奨励研究申請書類のチェックを行った。以下にその活動と連絡会の概略を記す。

活動概略

- 7月23日 科学研究費補助金に関する講演会出席
- 9月18日 本学且野原キャンパス技術職員研修において奨励研究について講演
- 10月30日 奨励研究計画調書サンプル配布
- 11月2日～24日 奨励研究申請書類の事前チェック
 - 11月2日 事前チェック受付開始
 - 11月12日 事前チェック受付締切り
 - 11月18日 事前チェック後返却完了
 - 11月24日 技術部内の奨励研究申請書類提出締切り

注 奨励研究相談会は新規採用者がいなかったため，また参加希望者もいなかったため本年度は開催しなかった

連絡会概略

- 7月13日 第1回連絡会
 - ・社会連携課主催の科学研究補助金申請説明会に出席することを決定
 - ・技術職員研修において奨励研究申請の宣伝を行うことを決定
 - ・採択結果および全国の採択率と比較検討
 - ・計画調書・応募カード記入要領の変更点を洗い出す作業を行うことを決定
 - ・未申請者へ個別に声かけをすることを決定
- 10月14日 第2回連絡会
 - ・奨励研究相談会を開催するかどうかについて方針決定
 - ・事前チェックおよび奨励研究相談会の日程を決定
- 10月29日 第3回連絡会
 - ・計画調書・応募カードの記入要領変更点の洗い出し作業
 - ・事前チェックのチェック方針について確認
- 12月10日 第4回連絡会
 - ・申請推進活動の成果について報告
 - ・事前チェック内容について概ね良好な方向にあることを報告
 - ・機関名や職種等の統一化について検討
 - ・依頼書の様式配布方式について改正案作成
 - ・次年度の目標を議論

2月17日 第5回連絡会

- ・WG 移動に関する希望調書の提出
- ・チェック委員ひとりあたりのチェック件数増加に関する議論

2. 成果

奨励研究申請書類のチェック依頼件数は前年度より2件減って6件であった。前年同様に申請1件に対し、2名の委員がそれぞれチェックを行った。なお、申請件数は前年度より3件増加して25件となり、特任職員を除いた申請率は59%から69%へ10%も増加し、70%に近い申請率となった。これは飛躍的な増加だと言える。

なお、平成21年度奨励研究については申請件数22件に対し採択件数は3件であった。全国的にみて申請件数が年々増えて獲得競争がますます激化しており、質の向上が求められると思われるので、本WGの果たす役割も大きくなると考えられる。

また、研究者登録をしているため奨励研究の申請ができない人については科研応募率が3分の2であった。

3. 今後の課題

奨励研究申請件数が技術部全体としてはまだ少ないと思われるので、申請件数の増加を図ることが必要である。また、チェック機能の均一化や高機能化を図るばかりでなく、有用な情報をすべての技術職員に伝えるとともに、申請の奨励活動にもさらに力を注ぎたいと考えている。